



横浜銀行 上海支店

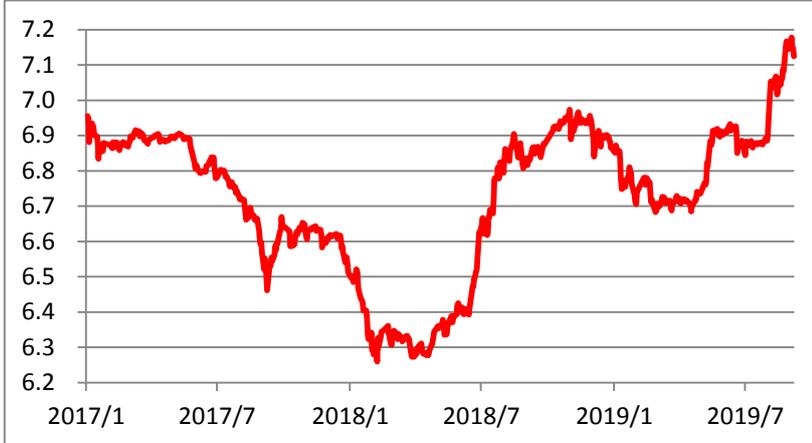
週間マーケットレビュー(2019.9.6)

電話 86-21-6877-6800 ファックス 86-21-6877-6680

1. 為替動向

【為替レート(USD/RMB)の動き】

(単位:元)



出所:CFETS(Close Rate)

USD/RMBの動き

月日	為替レート
8月23日 金	7.0825
8月26日 月	7.1528
8月27日 火	7.1670
8月28日 水	7.1635
8月29日 木	7.1514
8月30日 金	7.1452
9月2日 月	7.1716
9月3日 火	7.1785
9月4日 水	7.1538
9月5日 木	7.1459
9月6日 金	7.1243 ※

※15:00時点

- ・今週のUSD/RMBレートは先週比元安でスタートした。9月2日夜には中国商務省より、米国の関税措置第4弾の対応をWTOに提訴することが発表され、9月に予定されていた米中貿易協議の開催が危ぶまれる状態となった。
- ・今週後半にかけては、香港行政長官が逃亡犯条例改正案を正式撤回したことや、米中貿易協議が10月の開催で合意した点などを要因に、中国情勢への懸念がやわらぎ元高が進んだ。

2. 金利動向

【SHIBOR(上海銀行間取引金利)3か月ものの動き】

(単位:%)



出所:中国外汇交易中心暨全国银行间同业拆借中心

SHIBOR3か月ものの動き

月日	金利(%)
8月23日 金	2.6900
8月26日 月	2.6940
8月27日 火	2.7000
8月28日 水	2.7020
8月29日 木	2.7002
8月30日 金	2.7010
9月2日 月	2.7000
9月3日 火	2.7010
9月4日 水	2.7020
9月5日 木	2.7040
9月6日 金	2.7080

- ・SHIBOR3か月もの金利は先週と同水準にて推移した。
- ・9月4日には、中国国务院(日本の内閣に相当)が銀行の預金準備率を『時宜を得た方法』で引き下げていく意向を示したとの報道があったが、現時点でSHIBORに大きな影響は見られない。
- ・また、LPR(貸出市場報告利率)算出の基準となる、MLF(中期貸出ファシリティ)の次回ロールオーバーは9月9日と見られており、その際の資金供給レートに注目が集まっている。

-Disclaimer-

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願い申し上げます。

3.ビジネスピックアップ

(1) 企業：中国エアコン大手「格力電器」増収増益。積極的な市場開拓。

中国の空調設備大手メーカーである珠海格力電器（広東省珠海市、深セン証取上場）が2019年6月期中間決算を発表した。売上高は前年同期比7.0%増の約983億元（約1兆4600億円）、純利益は前年同期比7.4%増の約138億元（約2000億円）に上ったと公表した。

中国国内のエアコン市場は、2017年45.9百万台、2018年44.6万台（日本は2018年10.5万台、一般社団法人日本冷凍空調工業会調査）と、既に国内市場が成熟しているとみられている一方で、同社はエアコン事業で増収を達成している。比較的規模が小さい都市や農村部への供給と、インドや東南アジアなどの海外向け輸出など、エアコン普及率の遅れている地域の市場開拓を進めた結果と推測される。

このように中国大手企業においても、中国国内需要の開拓と積極的な海外進出が行われており、日系メーカーにとって更に大きな脅威となっている。

(2) 社会：豚肉価格高騰。前年同月比27%上昇。

アフリカ豚コレラ（ASF）の感染拡大により、中国国内での供給不足が発生し、需給逼迫による価格高騰が発生している。7月の豚肉価格は前年同月比で27%上昇した（消費者物価指数（CPI）国家统计局発表）。CPI全体の上昇率が2.8%であった事を踏まえると、際立った価格上昇である事が伺える。米中貿易戦争による豚用飼料の穀物価格の上昇も、価格高騰の要因のひとつと考えられている。

また豚肉輸入量も急増している。2019年通年では、前年比67.6%増の200万トン規模になる見通しだと当地メディアは伝えている。2018年の輸入相手国は多い順に、ドイツ、スペイン、カナダ、ブラジル、米国であったが、欧州でもASF感染が拡大しており、ブラジルからの輸入が一段と増加すると予想される。

豚肉は中国人にとって欠かせない食材であり、価格高騰は国民生活に打撃を与える。政府も価格抑制に向けた動き（農畜産物市場での上限価格の設定、購入量制限など）が出始めている。

-Disclaimer-

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。

ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。

本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。

本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願い申し上げます。